

教材・教具の開発と活用

学習意欲を高め、効果的な授業を行う上で、教材・教具の活用は重要な役割をもっています。児童生徒の実態をできるかぎりの確に把握した上で、その児童生徒にとって最も有効な教材・教具を選択したり、開発したりする必要があります。

○教材・教具の開発のポイント

- ◆児童生徒の発達や障害の状態に対応したものか。
 - ・どのような操作が可能か、どのような考え方をするかなど、細かな実態に基づいた教材
- ◆指導のねらいに沿っているか。
 - ・理解していることやできることに基づいて立てられた目標の達成に必要な教材
 - ・段階的に指導できるようステップを設けたり、ヒントを加えたりしている教材
- ◆児童生徒の興味・関心を高め、学習意欲を高めるものか。
 - ・学習者が使用して学習した結果を自分で確認できる教材
- ◆操作が容易で、単純で具体的なものか。
- ◆繰り返して使え、利用度の高いものか。
- ◆安全性が高いものか。
- ◆保管・整理がしやすいものか。

教員は、教材・教具の整備に努めるとともに、それぞれの教材・教具に親しむだけでなく、その改善や開発のために、絶えず研究することが必要です。

開発した教材・教具の使用目的や使用方法、所在場所等を記載したカードを作成したり、教材・教具の一覧を校内LAN上で閲覧できるようにしたりして、共有化を図っている学校もあります。